初心者 軟式テニス教室

□とき…五月八日(日)の午前九時から受付け（雨天の場合は、五月十五日に順延）
□ところ…東町庭球場
□対象…一般市民で初心者の人
□参加料…五百円
□申込み…当日会場で。

市民 ハイキング

□とき…五月十五日(日)
□集合…午前八時までに市役所前へ。
□行先…菅谷不動尊から大峰山へ。
□対象…一般市民
□定員…四十名
□参加料…大人千五百円、中学生以下千円（交通費、保険料など）
□持ちもの…昼食、水筒、雨具など
□服装…ハイキングに適したズボン、運動靴などの軽装
□申込み…五月十日までに参加料を添えて社会教育課社会体育係（☎22－0916）へ。ただし、定員になりしだい、締め切ります。
※雨天の場合などの問い合わせは、当日の午前六時四十分から社会教育課社会体育係へ。

六人制 バレーボール大会

□とき…五月二十二日(日)の午前九時から
□ところ…三小
□参加資格…市内に居住または勤務する人（高校生は除きます）
□種目…一般男子、一般女子
□競技方法…種目別トーナメント
□チーム編成…一チーム十二名以内
□申込み…五月十八日までに社会教育課社会体育係（☎22－0916）へ。

市民 サイクリング

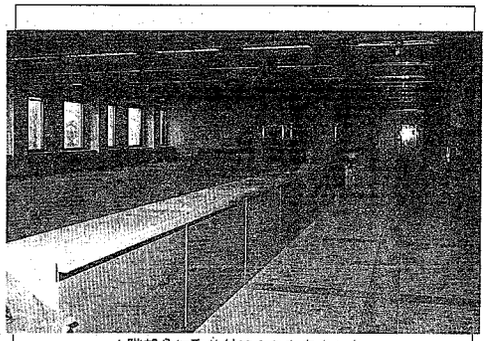
□とき…五月二十二日(日)
□集合…午前八時までに二小へ。
□行先…泰平橋（新潟市）
□対象者…一般市民（小学四年生以下は保護者同伴）
□参加料…一人五百円（保険料、その他）
□服装…トレーニングパンツ、半ズボンなど。
□持ちもの…昼食、水筒、雨具
□申込み…五月十四日までに参加料を添えて社会教育課社会体育係（☎22－0916）または市内の各自転車店へ。
※雨天の場合は、安全講習会、とん汁大会です。宝探し、ゲームなども行います。

軟式 庭球大会

□とき…五月二十二日(日)の午前八時三十分から（雨天の場合は六月十二日に順延）
□ところ…東町庭球場
□内容…男子A（社会人および高校二・三年生）、男子B（社会人および高校一年生）、壮年（四十五歳以上）、女子（社会人および高校生）、中学男子、中学女子
□参加料…一チーム六百円、ただし中学生は一チーム四百円（当日、会場で納入）
□申込み…五月十六日までに社会教育課社会体育係（☎22－0916）または横野スポーツ店（☎22－0509）へ。

硬式 庭球大会

□とき…五月二十九日(日)の午前九時から（雨天の場合は、六月五日に順延）
□ところ…東町庭球場
□参加資格…市内在住・在勤の人、新津市庭球協会会員
□内容…ダブルス（男子A、男子B、男子成年（三十五歳以上）、女子A、女子B、百歳ペア（男女を問わず二人の合計年齢が百歳以上）
□参加料…一組二千百円
□申込み…五月二十三日までに、申込用紙に記入のうえ、参加費を添えて社会教育課社会体育係（☎22－0916）または横野スポーツ店（☎22－0509）へ。



1階部分に取り付けられたカウンター
4月21日撮影

市庁舎建設の進行状況㉕

好天に恵まれにぎわった園遊会（上）と多くの子どもが集まった少年広場（下）

それぞれに春を楽しむ

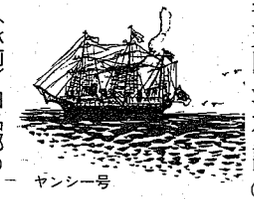
4月17日、秋葉公園で桜まつりが行われました。当日、桜の方はつぼみが膨らんだ程度でしたが、天候に恵まれ、公園内は1日中、春を楽しむ人でいっぱいでした。

また、平和塔前広場の特設ステージでは、園遊会、芸能大会が開かれ、民謡や演奏、カラオケ大会などが繰り広げられました。

お買物、ご用命は市内で

畳替え、匂うい草の心地良さ
●新 畳（1帖）10,000円　●表 替（1帖）6,000円
※以上は私共が自信を持っておすすめする品です。
■お問い合せ、ご注文はお近くの畳店、または下記へ
新津畳協同組合　☎ 22－7923

幕末明治夜話 (145)



ヤンシー号

(承前) 田名部のどん底生活

隣家の亭主が棺代の二重取りを企んでいると思っても、知り人はなし、女ばかりで欺かれるとは知りながら、受取書を取ってなかったのがこちらの落度で、どうすることもできなかった。

それで同藩の葉賀様という方から拝借してその場は済ませたが、あとから考えても口惜しくて〳〵たまらなかった。

段々あとから聞いてみると、近所でも相手にする者もない無頼漢であったという話であった。

「病足に腫れ足」と言われているが、この頃から上から下さる御扶持が、また減らされて、一人前一日黒米で三合、外に何も渡らなくなった。

その米も南京米で、食べられたものではなかった。その御飯だけでも、そのまま食べてはならないのであった。

というのは、食べる黒米の半分は貯えて置いて、不時の用意にし、他の半分の米へ昆布を切って混ぜ、粥にして食べるのであるから、いつも空腹でたまらなかった。

それで光子が「どんな辛い思いをしてもよいから、御飯だけは十分食べてみたい」とわがまま言って、母から大変叱られたことがあった。

その糧に入れる昆布も買うのではなく、毎朝人の起き出ぬ前に海岸へ出て、流れているのを拾い取ってくるのであった。

その後の艱難辛苦の数々は筆紙につくすこともできないほどである。

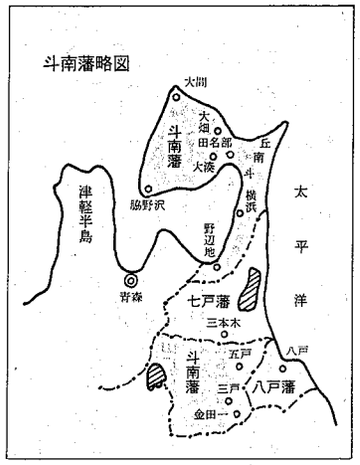
光子の母の美和子は針仕事をしたいと、諸所方々へ頼み廻ったが、見ず知らずの他国者を相手にする人もなく、まして寒村のことであるから賃仕事も見当たらなかった。

それでも食べずには居られないので、一年ばかりは近辺の山林へ柴枯枝などを集めに行き、これを束ねて売り歩き、わずかながらも生活の足しにしたこともあった。

また、菓子屋へ頼まれて、菓子粉挽きを内職にするなど、いろいろ苦心したが、食べるだけでも、女の手では困難であった。

気強い光子の母のことであるから、少しぐらいの荒仕事は厭わなかった。もともと、斗南の地は恐山下の火山灰の不毛の地として、一粒の米も出来ず、したがって住民も少ないわけであった。

母の美和子も伯母と額を集めて、あれこれと越し方を思んだ方がましだ。それも離れ離れにならぬように帯で結びあって……」などと、泣く泣く相談したこともあった。



斗南女人往来（五）

阿達義雄

話注

(1)木賃泊り…木賃宿とは、まき代を取って旅人を泊める宿屋。あるいは宿泊料の安い宿屋。「木賃泊り」とは、木賃屋のように安く泊めてもらうことをいう。
(2)一か月二朱の家賃…二朱は両の八分の一、新貨制によれば十二銭五厘。
(3)家内五人（鈴木家の家族）…祖母、母美和子、光子、のぶ
(4)棺代が二両二分…明治四年五月十日の新貨条例によって、二両は二円、二分は五十銭といわれるようになった。
(5)上から下さる御扶持…明治の新政府から旧会津藩の者への救済的給与。明治二年二月十五日、若松在陣参謀よりの令達によると、大人玄米五合、銭二百文、小人玄米三合、銭二百文となっていたが、その後、変動があり、明治六年春、御扶持方廃止になった。
(6)糧に入れる昆布…「かて」とは、米を炊くのに他の物を加えること、または、その加えるものをいう。
(7)病足に腫れ足…今まで、足を病んで困っていたのに、さらにその足が腫れてきたこと。

（新潟大学名誉教授）

図書館では、今、子どもたちのために「にいつの昔話」の編集を進めています。

そこで、この編集に多くの市民の皆さんから参加してもらうため、「にいつの昔話」のさし絵を募集することになりました。ふるってご応募ください。

なお、ご希望の人には、昔話の原稿をお渡ししています。

くわしいことは、図書館（☎22－0097）へお問い合わせください。

『にいつの昔話』のさし絵を募集

お買物、ご用命は市内で

＝新製品好評発売＝
日本海名産 甘えびパイ
日本海でとれた新鮮な甘えびをパイに折込んだ風味豊かなパイのお菓子です。カルシュームのたっぷり入ったパリッとした日本海の風味をご賞味下さい。
北国小僧 登録商標®　にいつ ホーサカヤ
本町2 ☎22－0112
コーヒー祭り 100g－280円　5月6日(金)・7日(土)・8日(日)の3日間